

## プログラムでの演目紹介内容

### 1. 「越殿楽（えてんらく）」

数ある雅楽曲の中で最も知られている曲が平調（ひょうじょう）の「越殿楽（えてんらく）」ではないでしょうか。

小・中学校の音楽の教科書にも紹介されています。

また、神社や神前結婚式などで耳にすることも多い曲です。

漢の文帝の作とする説もありますが、日本で作られた曲であるとする説もあって、明確なことはわかっていません。この越殿楽のメロディーはとても親しみやすく、仏教讃歌、童謡、民謡「黒田節」などの多くの曲の中にそのメロディーが取り入れられています。簡潔、優雅な旋律と、端整な形式が代表作として知られる要因なのでしょう。

### 2. 「五常楽急（ごしょうらくのきゅう）」

唐からの伝来曲で、唐の太宗(たいそう)が作ったとされる曲です。

越殿楽と同じ平調に属する曲で、儒教の教えの人の守るべき道徳、仁・義・礼・知・信の「五常」を、雅楽の基本の宮・商・角・徴・羽の五音に配したのが「五常楽」の曲名の由来と言われています。

※参考までに急について。

雅楽の大曲では『序・破・急』の三つの楽章があります。

曲名に付して「五常楽の急」と呼びます。序（冒頭楽章）、破（中間楽章）、急（終楽章）となっています。

五常楽急は、このような完全な形で残されて伝えられた数少ない曲です。

### 3. 「青葉の笛」

唱歌「青葉の笛」は、一ノ谷の戦いで命を落とした平敦盛と平忠度の最期を歌ったものです。

熊谷直実に討たれた平敦盛が身に着けていた笛は、龍笛です。

敦盛は笛の名手と言われ、実際の笛の名は「小枝（さえだ）」と言われています。

合戦の場で最期に吹いたのは、どんな曲で、どんな音色だったのでしょうか。